

要請番号 (JL13625A01)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
バヌアツ	H106 保健師	20~45歳のみ	個別	交替 4代目	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

サンマ州保健事務所NCD課

3) 任地 (サンマ州サント島ルーガンビル市) JICA事務所の所在地 (ポートビラ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約1.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、バヌアツ第二の都市ルーガンビル市の中心部にある、北部州を管轄する保健事務所である。サンマ州は人口約60,000人、州内の大小複数の島にある、より小規模な医療施設(8ヶ所のヘルスセンター、18ヶ所の診療所及び42ヶ所のエイドポスト)を管轄し、それらの管理や支援を行っている。現在、生活習慣病対策課、家族計画課、感染症対策課、予防接種計画課等合わせて10課に分かれている。前身の保健局時代も合わせ、これまで計5名の隊員が派遣され、母子保健や感染症対策、地域での公衆衛生活動などを行ってきた。現在、バヌアツ国内に勤務する現地人栄養士は9名で、隣国のフィジー国立大学の専門課程を卒業している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

近年、大洋州における生活習慣病(NCDs)の増加は大きな社会問題となっており、バヌアツでは、死亡原因の70%がNCDsに起因するもので、年々増加傾向にある。特に症例の多い高血圧や糖尿病の予防対策に取り組んでいるが、なかなか改善されない。同州の北部州病院NCDs外来には年間3500人が受診し、その9割が再診である。新たな患者も増加傾向にあり、生活習慣病予防の対策、患者の意識改革が重要課題となっている。北部州病院NCDs部門配属の看護師や活動中のJICA海外協力隊とも連携し、食事や自己管理について助言を行うとともに、近隣地域にも出向き予防のための健康教育を実施する。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

NCDs患者のフォローと予防啓発のため、以下の活動を行う。

- 同僚の日常業務をサポートし、北部州病院のNCDsユニット入院患者及び外来患者に対する食生活改善の助言を行う。
- 現地の食材や食文化を考慮したNCDs患者の食事について提案する。
- 食事内容の評価ができるようなマテリアルを現地語で作成し、活用する。
- 作成したマニュアルを活用し、近隣地域での生活習慣病予防対策のワークショップを提案・企画し、実施する。
- 保健医療分野の隊員と情報交換を行い、国レベルで必要な取り組みを提案する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター、文具等。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・NCDコーディネーター(女性、業務経験30年以上)

- ・保健事務所スタッフ(20～50歳代)
- 活動対象者:
- ・NCD患者
 - ・地域住民

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(保健師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：同僚や市民への指導が必要なため

[汎用経験]：

- ・食生活改善や栄養に関する知識や経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(18～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

現地で必要とされるビスラマ語については、現地訓練期間中に学習する。